



厚生労働省 三重労働局発表

令和2年8月31日(月)

担	厚生労働省三重労働局職業安定部 職業安定課長	小西 克明
当	職業安定課長補佐	堀 保
	地方労働市場情報官	大西 一幸
		電話 059-226-2305

報道関係者 各位

「雇用情報モニター報告集計結果(令和2年度第2・四半期)」

三重労働局では、県内企業・経営者団体等に雇用情報モニターを委嘱し、企業活動の実績と見通し、雇用動向等についての報告を、年4回(四半期毎)提出いただいております。

このたび、令和2年度第2・四半期(令和2年7月～9月)実績見込み及び次期(令和2年10月～12月)見通しの集計結果を取りまとめましたので公表します。

調査結果 主な項目の概要

○ 受注・生産状況の実績見込みと今後の見通し

「増加」が26.7%で増加、「減少」が46.7で減少、D I(「増加」-「減少」)は▲20.0で前期と比べ33.4ポイント上昇。次期見通しは▲21.6で下降予想。

○ 企業収益の実績見込みと今後の見通し

「増加」が25.4%で増加、「減少」が52.4%で減少、D I(「増加」-「減少」)は▲27.0となり、前期と比べ26.2ポイント上昇。次期見通しは▲33.4で下降予想。

○ 稼働操業状況の実績見込みと今後の見通し

「増加」が23.7%で増加、「減少」が44.1%で減少、D I(「増加」-「減少」)は▲20.4となり、前期と比べ23.6ポイント上昇。次期見通しは▲18.6で上昇予想。

○ 設備投資の見込み

「ある」が16.1%で4.9ポイント減少、「ない」が56.5%で8.1ポイント増加。D I(「ある」-「ない」)は▲40.4で13.0ポイント下降。

○ 従業員の過不足判断

「過剰」は7.9ポイントで減少、「やや過剰」は16.7ポイントで横ばい、「不足」は0.0ポイントで減少、「やや不足」は10.3ポイントで増加。D I(「過剰」-「不足」)は14.3となり、4.0ポイント減少(過剰判断が減少)。次期見通しは8.0で「過剰」判断は減少の予想。

○ 雇用調整の状況

実施事業所数は38事業所(64.4%)で、前期の27事業所(44.3%)より11事業所の増加。

○資料

別添 「令和2年度 雇用情報モニター報告集計」

○参考

- ・調査対象 地域経済にかかわりの深い企業の中から公共職業安定所長の推薦により労働局長が委嘱した、民間企業及び事業主団体
- ・調査方法 調査票により、モニターから公共職業安定所長に郵送等により提出
- ・調査時期 令和2年度第2四半期（令和2年度7月～9月）実績見込み及び次期（令和2年度10月～12月）見通しについて
- ・モニター内訳 民間企業 64社（建設業 2、製造業 48、運輸業 2、小売業 7、サービス業等 5）
事業主団体等 8
- ・回答状況 民間企業 64社、事業主団体等 8団体
（注）集計結果には、業種別等の偏りがあると思われるのでご了承ください。

令和2年度 雇用情報モニター報告集計

令和2年度 第2・四半期
三重労働局職業安定部職業安定課

令和2年度第1・四半期（2年4月～6月 以下前期）においては、多くの指標のD Iがマイナスとなりましたが、2年度第2・四半期（2年7月～9月 以下今期）においても、多くの指標のD Iがマイナスとなりました。

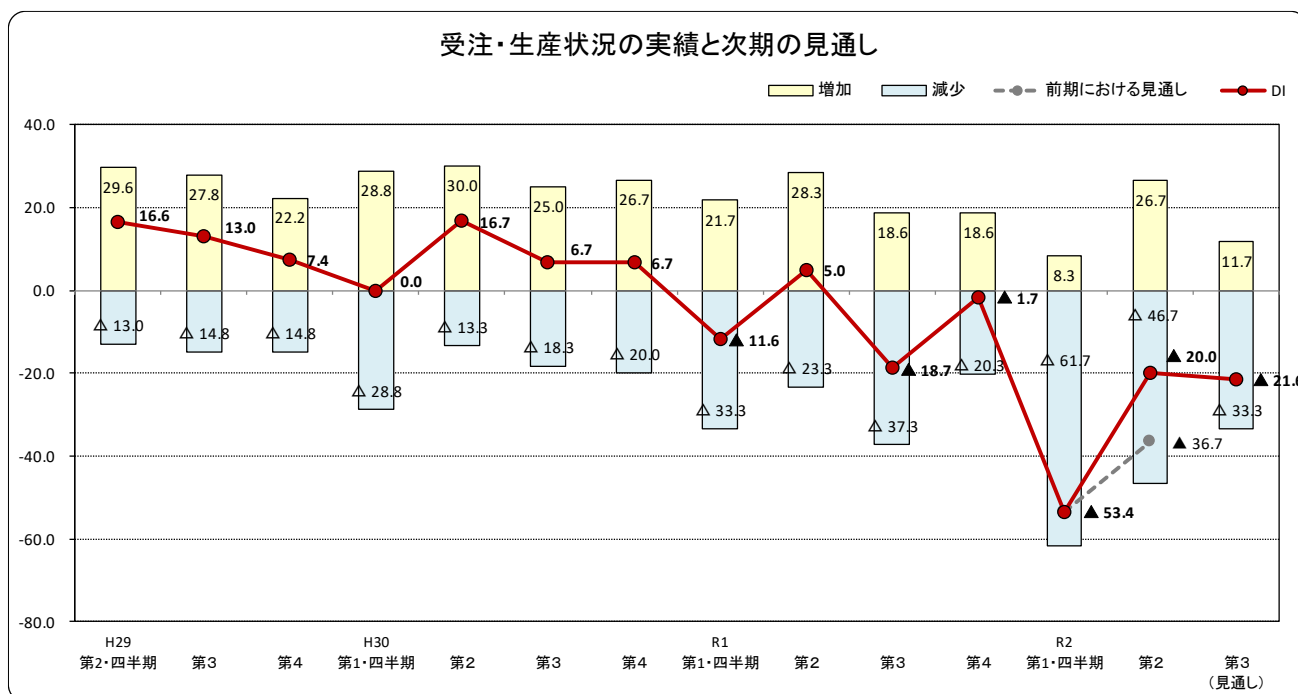
次期の予想においては、多くの指標で下降の見通しとなっています。

1. 受注・生産動向について

【受注・生産状況の実績見込みと今後の見通し】

今期の受注・生産状況では、「増加」が26.7%、「減少」が46.7%で、D I（「増加」－「減少」）は▲20.0で前期と比べ33.4ポイント上昇したが、4期連続でマイナスとなりました。

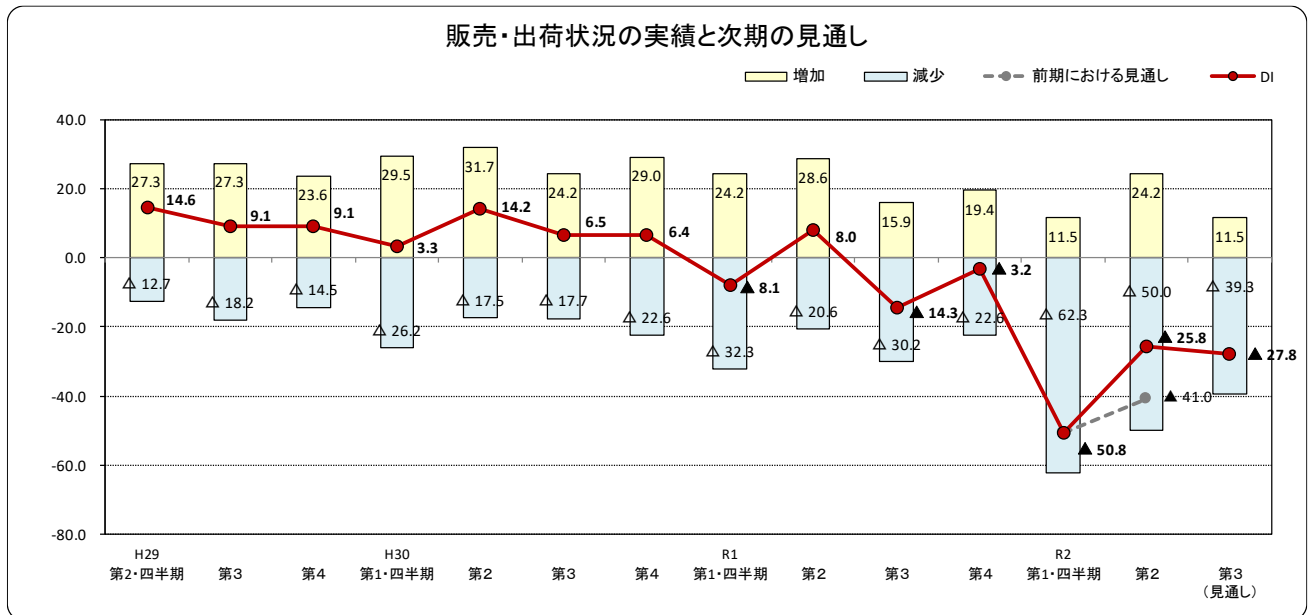
次期の見通しについては、D Iは▲21.6で、下降する予想となっています。



【販売・出荷状況の実績見込みと今後の見通し】

今期の販売・出荷状況では、「増加」が24.2%、「減少」が50.0%で、D I（「増加」－「減少」）は▲25.8で前期と比べ25.0ポイント上昇しましたが、4期連続でマイナスとなりました。

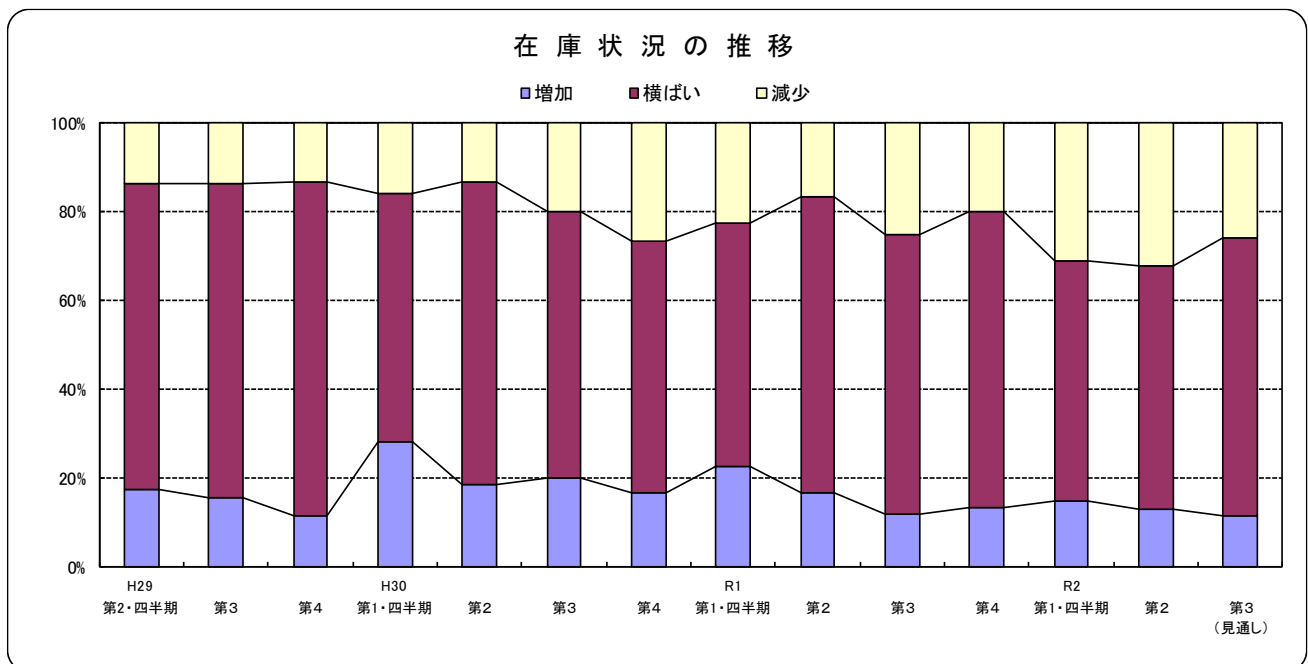
次期の見通しについては、D Iは▲27.8で、下降する予想となっています。



【在庫状況】

今期の在庫の状況についてみると、「増加」が減少、「減少」が増加、42期連続して「横ばい」が最も多くなりました。

次期の見通しについては、「横ばい」が増加し、「増加」が減少する予想となっています。

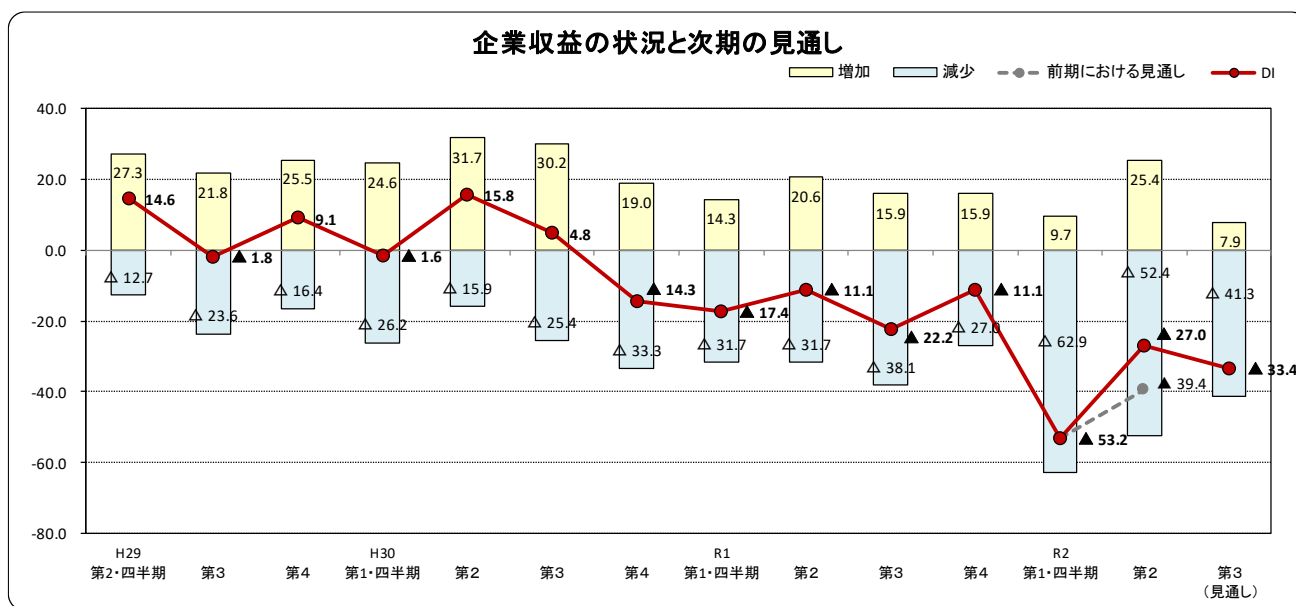


2. 企業活動の状況について

【企業収益の実績見込みと今後の見通し】

今期の企業収益の状況では、「増加」が25.4%、「減少」が52.4%で、D I（「増加」－「減少」）は▲27.0となり、前期と比べ26.2ポイント上昇しましたが、7期連続でマイナスとなりました。

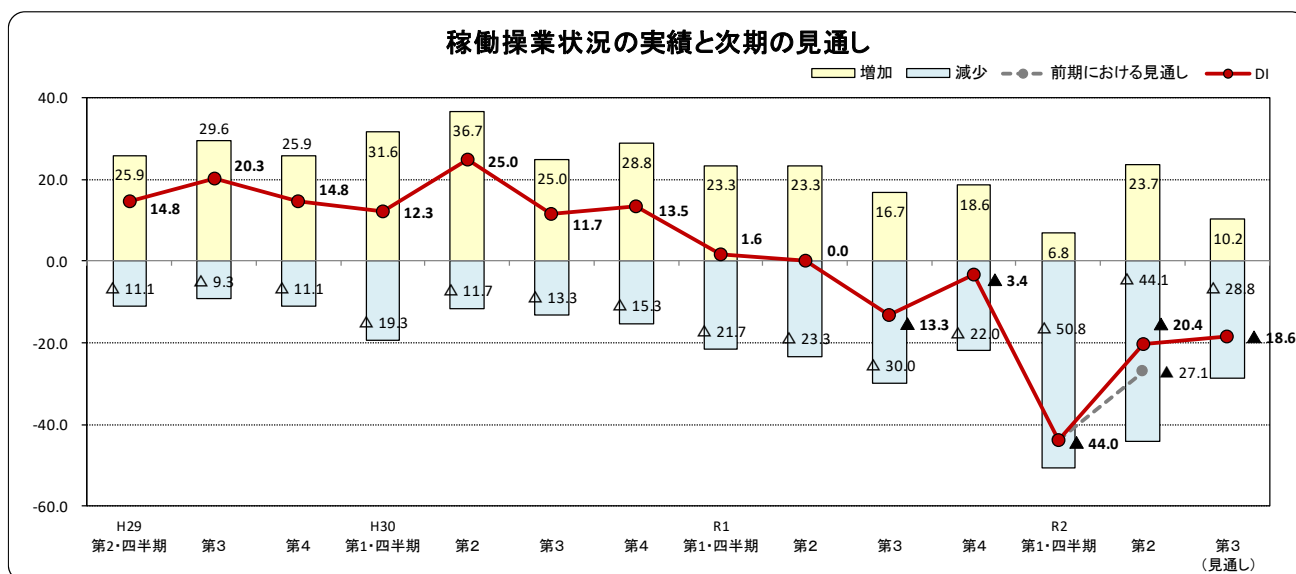
次期の見通しについては、D Iは▲33.4で、下降する予想となっています。



【稼働操業状況の実績見込みと今後の見通し】

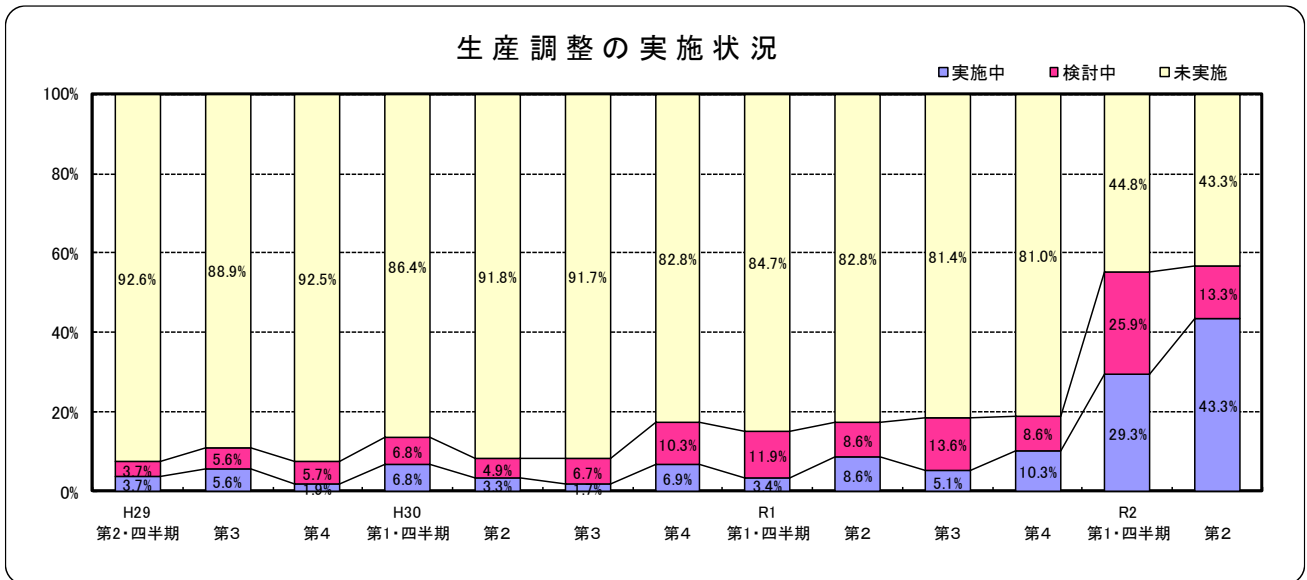
今期の稼働操業状況では、「増加」が23.7%、「減少」が44.1%で、D I（「増加」－「減少」）は▲20.4となり、前期と比べ23.6ポイント上昇したが、4期連続でマイナスとなりました。

次期の見通しについては、D Iは▲18.6で、上昇する予想となっています。



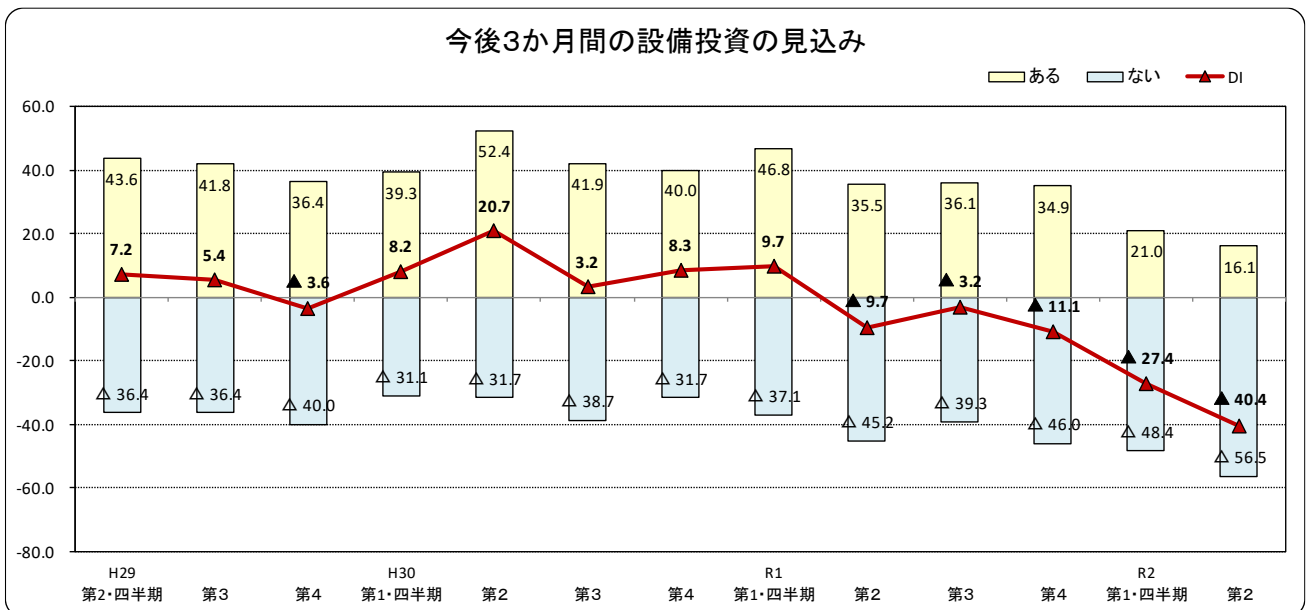
【生産調整の状況】

生産調整を「未実施」とした事業所は、今期は43.3%で前期と比べ1.5ポイント減少、「検討中」は13.3%で12.6ポイント増加、「実施中」は43.3%で14.0ポイント増加となりました。



【設備投資の見込み】

今後3か月間の設備投資の見込みでは、「ある」とする事業所の割合は16.1%で前期と比べ4.9ポイント減少、「ない」とする事業所の割合は56.5%で8.1ポイント増加、DI（「ある」-「ない」）は▲40.4となり、前期と比べ13.0ポイント下降しました。

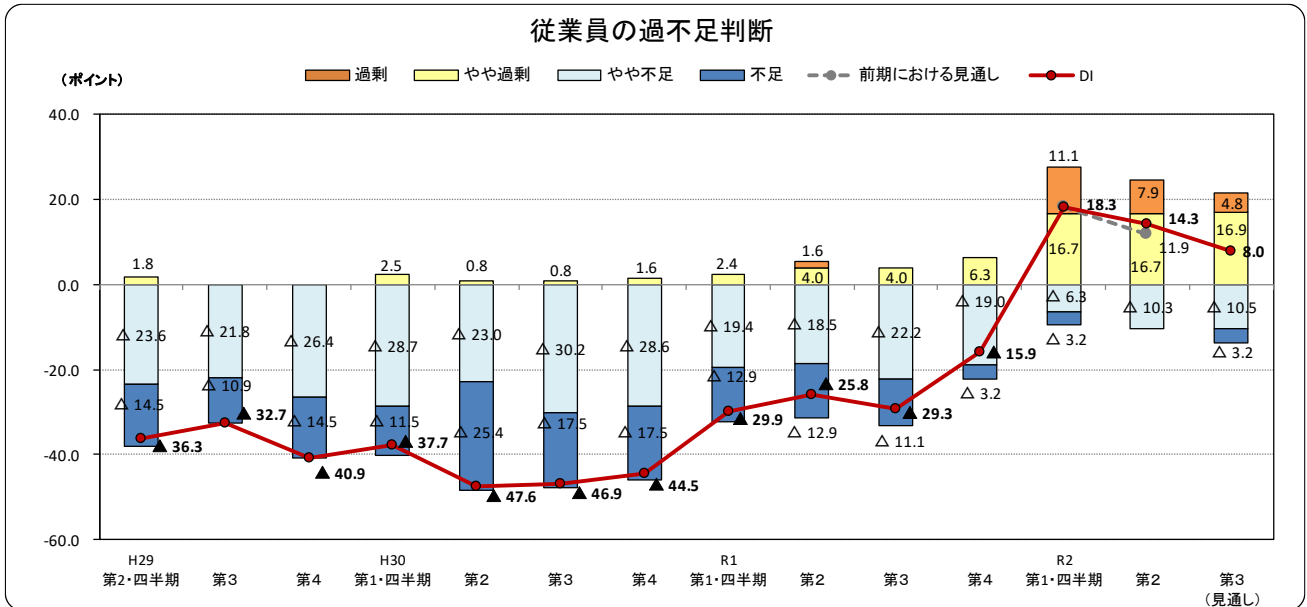


3. 雇用動向について

【従業員の過不足判断】

「過剰」は7.9ポイントで3.2ポイント減少、「やや過剰」とする事業所は16.7ポイントで横ばい、「不足」は0.0ポイントで3.2ポイント減少、「やや不足」とする事業所は10.3ポイントで4.0ポイント増加し、DI（「過剰」-「不足」）は14.3となり、前期より4.0ポイント減少（過剰判断が減少）して、2期連続で過剰判断が不足判断を上回りました。

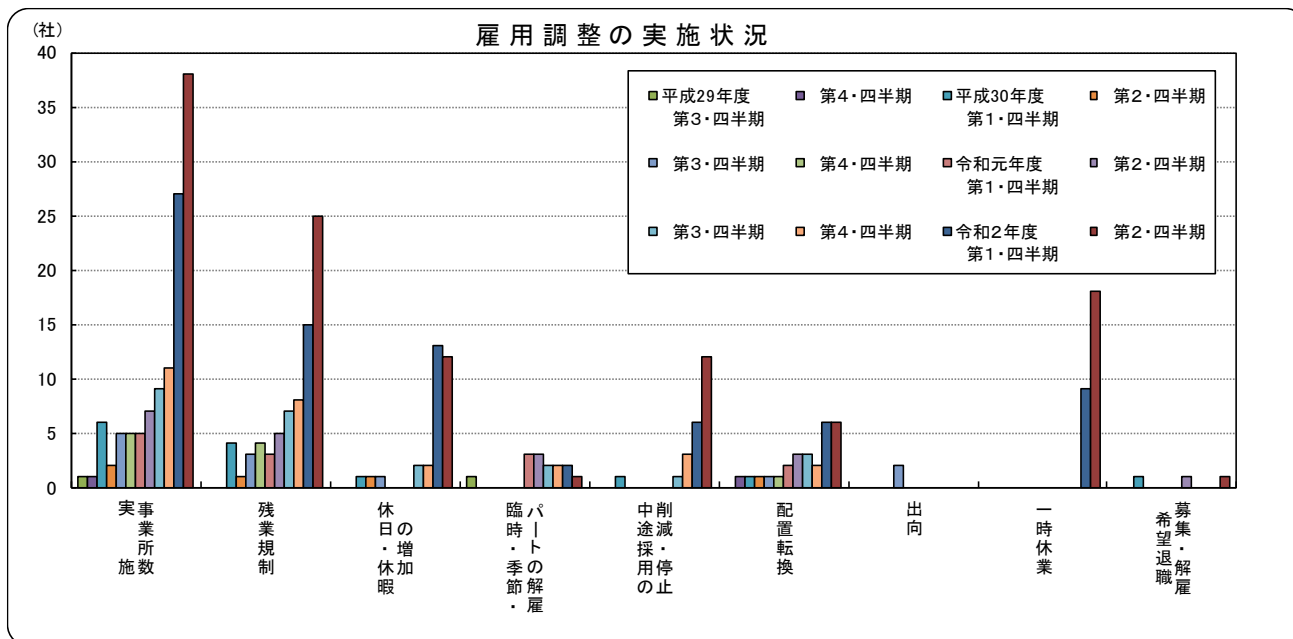
次期の見通しについては、DIは8.0で、「過剰」判断は減少の予想となっています。



【雇用調整の状況】

雇用調整を実施している事業所数は、今期は38事業所（64.4%）で、前期の27事業所（44.3%）より11事業所の増加となりました。

	合計	実施なし	予定あり	実施事業所数	残業規制	休日・休暇の増加	臨時・季節・パートの解雇	中途採用の削減・停止	配置転換	出向	一時休業	希望退職募集・解雇
平成29年度 第3・四半期	55	52	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0
第4・四半期	53	52	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
平成30年度 第1・四半期	60	54	0	6	4	1	0	1	1	0	0	1
第2・四半期	62	58	2	2	1	1	0	0	1	0	0	0
第3・四半期	60	53	2	5	3	1	0	0	1	2	0	0
第4・四半期	59	53	1	5	4	0	0	0	1	0	0	0
令和元年度 第1・四半期	61	56	0	5	3	0	3	0	2	0	0	0
第2・四半期	62	54	1	7	5	0	3	0	3	0	0	1
第3・四半期	62	52	1	9	7	2	2	1	3	0	0	0
第4・四半期	62	51	0	11	8	2	2	3	2	0	0	0
令和2年度 第1・四半期	61	25	9	27	15	13	2	6	6	0	9	0
第2・四半期	59	18	3	38	25	12	1	12	6	0	18	1



<主なコメント>

ほぼすべての回答から新型コロナウイルス感染症の影響があることが報告されています。

- コロナ禍で商談進まず、業務用製品は壊滅的減少。店舗向けも大幅減、通販、カタログ向けは動きあり。輸出も中国向け以外は悪化し在庫が増加、雇用調整を実施するところもあり。（事業主団体）
- 製造、建設、飲食業で売上等は前年比マイナスで収益も悪化傾向、小売業は売上、収益とも横ばい。製造業では雇用調整に入っており、多くの業種で人員の過剰に変化する可能性あり。（事業主団体）
- 家庭向け需要は落ち着いてきたが、外食産業用は復調せず。夏物商品も先行きが見込めず。（製造業）
- 巣ごもり需要で売上が増加。派遣社員の増員と稼働日を増加して対応。（製造業）
- 売上の下落に伴い収益も減少。中途採用は一時停止し人員不足は残業で対応。（製造業）
- 受注分の生産でフル稼働中、収益は出来高清算のため順調。一部の職種に人員不足あり。（製造業）
- 主力商品の需要が回復せず、従業員も過剰ぎみであるが秋以降の回復に備え人員調整せず。（製造業）
- 今期は徐々に出荷が回復中、受注減で収益は横ばいで推移。残業規制、配置転換を実施。（製造業）
- 取引先の減産により当事業所は小幅な減産、会社全体では大幅な減産で設備投資を抑制中。（製造業）
- 受注が進展せず今後の操業に不透明感あり。他事業所とは移動の制約あり人員調整が困難。（製造業）
- 8月以降は年間計画水準に回復、8月以降に若干の人員不足を派遣社員の増員で対応。（製造業）
- 今後も売上げは厳しい見込み。残業規制をしているが人員が不十分な部署は残業で対応中。（小売業）
- 求人への応募者が以前より増加した印象。（小売業）
- 夏休みの短縮とコロナの影響で宿泊客は伸び悩み。秋の行楽シーズンも苦戦を予想。（宿泊業）
- 在宅サービスにコロナの影響あり、人材不足、特に有資格者の不足状況に変化はない（医療・福祉）